

八鹿青溪校区小中一貫教育だより

令和8年3月3日(火)

八鹿青溪校区小中一貫教育 校長会発行

第3号

1月22日(木)に予定されていた「第3回6年生中学校登校」は、大雪警報のため残念ながら中止としました。

6年生にとって、授業を通じて仲間との絆を深め、入学への不安を安心感へと変える大切な機会でした。中学校も授業、ガイダンスや説明会の準備を整えて待っていただけに、非常に惜しまれます。今後は、7月と10月の経験を生かし、各小学校で生活のまとめをしっかりと行い、自信を持って中学校生活のスタートを切れるよう、一日一日を大切に過ごし、準備を進めます。

令和7年度八鹿青溪校区小中一貫教育のまとめ

八鹿青溪校区小中一貫教育では、専門部会を「まなび部会」「ふるさとそうあん部会」の2部門に分け、取組を進めてきました。本年度の各部会の取組を報告します。

■まなび部会の取組■

(1) 今年度の取組

- ①「生き生きと表現する児童生徒の育成」を八鹿青溪校区共通のテーマとし、実践を推進する。
- ②「小中一貫キャリアアップ研修」の実施により、教員の資質向上と小中教員の交流促進を図る。
- ③部会のテーマを参観の観点とし、各教員が他校・他校種へ1年に1回は参観する「小中相互授業参観」の機会を作る。
- ④タブレット端末の活用を通して「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的推進を図る。
(「主体的・対話的で深い学び」の実践、視察および授業公開。)

(2) 実践・成果(○)と課題(●) (取組②については一貫だより第2号に掲載)

①今年度の実践

○「伝え合う力」と「聞く姿勢」を育てる

- ・自分の考えを論理的に組み立てられるよう、「はじめ・次に・最後に」といった話のフレームワークを教室に掲示しています。算数の授業では適切な用語を使って説明できる子が増えました。
- ・「目・耳・心で聞く」を掲示しました。



2月4日 授業公開
伊佐小 6年国語

○ICT (タブレット端末) による学びの広がり

- ・自分の発表を録画して見直し、改善につなげました。
- ・クラウド機能を使い、クラス全員の意見をリアルタイムで共有しました。
- ・人前で話すことが苦手な子も端末を使うことで自分の考えを発信できました。

②今後の課題

●評価のあり方をアップデート

- ・挙手の多さだけでなく、深く静かに考えている姿やデジタルを用いた多様な表現を評価していきます。

●デジタル・シティズンシップの育成

- ・自由な活用の中でも「はじめ」を守り、道具を正しく使いこなす力を、ご家庭と連携して育てていきます。

③校内授業公開の共有と運営の工夫

- 5校の研修日程を共有し、相互参観しやすいように努めました。

- 相互参観をより円滑にするため、午後の公開授業を増やすなどの改善を検討します。

④先進地の知見を公開授業へ

○指定校が西脇市や洲本市を視察し、ICTを活用した「主体的に学ぶ授業」を市内や全国へ公開しました。

●多くの教員が公開授業からヒントを得て、第一段階をクリアしました。今後はその知見を自校の授業にどう生かすか、実践に向けた準備を進めます。

■ふるさとそうあん部会の取組■

(1) 今年度の取組

- ①「そうあんくんの日」の取組の推進
- ②「そうあんくんお手伝い大作戦」の取組の推進
- ③地域との連携



1月28日
学年部会での話し合い

(2) 実践・成果(○)と課題(●)

①○自主学习、お手伝い、読書、グッドメディア、ふるさと学習の交流に取り組むことができました。

○取組を継続することで、自分から取り組む「習慣化」が進んでいます。

○「草庵先生の歌」を流す、事前にプリントを配付し計画を立ててから実践する、取組例のプリントを配付するなど各校で工夫して実践しています。

●お手伝いなどが形式的(マンネリ化)にならないよう、内容をアップデートしていく工夫が必要です。

②○ポイント制で自分の努力が「見える化」され、達成感を味わう子が多かったようです。

○年末年始の掃除や食事作りを一緒に行うことで、「家族の役に立てて嬉しい」と感じる貴重な経験となりました。

○保護者の皆様からの温かい一言コメントが何よりの励みと意欲向上につながりました。

○「80ポイント達成で校長先生に表彰してもらえる」という目標が、最後までやり抜く大きな支えとなりました。

●より手軽に取り組めるよう、ICTの活用を検討しています。

●小学校低学年でも一人で書きやすいよう、様式を工夫します。

●「保護者の一言欄」が分かりにくかったという反省を生かし、次回は枠線を太くするなど、一目でわかるデザインに改善します。

③○小学校では、米作りや浅黄豆の栽培、書き初め、クラブ活動などで地域の方の支援を受けています。大人の技や知恵に触れることで、子どもたちの興味・関心が大きく広がっています。

○中学校では、クリーン作戦や地区運動会への参加を通じて、地域に貢献する意識を育てています。また、マイハザードマップの作成や浴衣の着付け体験など、安全への備えや伝統文化を学ぶ活動でも、地域の皆様と深く連携しています。



八鹿青溪中
「マイハザードマップ作成」

本校区の小中一貫教育のスタイルが確立されてきました。学習・生活規律の連携も深まり、9年間を見通した一貫指導が定着しています。特に「挨拶・返事」「掃除」「履物そろえ」「そうあんくんの日の取組」「地域活動への参加」の5つの力の育成は着実に成果を上げており、今後もさらなる充実を図ります。また、各校で推進している「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」も軌道に乗ってきました。今後も協議会との連携をさらに強化し、小中一貫教育にも生かしていきたいと考えています。